



藤中執行役員

同代協では、会員事業所の女性経営者ならびに女性従業員が一堂に集い、資質向上を図るとともに懇親を深め

島根県代協(谷口正人会長)は、11月19日14時から、松江市朝日町の松江テルサで「女性部会」を開催。これには17名が参加した。

女性が輝く保険代理店に向けて

藤中氏(損害保険ジャパン執行役員)が講義

女性部会を開催

島根県代協(谷口正人会長)は、11月19日14時から、松江市朝日町の松江テルサで「女性部会」を開催。これには17名が参加した。

同代協では、会員事業所の女性経営者ならびに女性従業員が一堂に集い、資質向上を図るとともに懇親を深め

冒頭、谷口会長が「企

業におけるエンゲージメントが重要」と挨拶した

その後初めて担当した代

理店さんから、女性で新

人は困る。担当を代えて

欲しいと支社長に電話を

された。男性だから、女性だからではなく、藤中

に担当して欲しいと思わ

れるような担当者になる

ため、新商品等が出た

際にはその内容をいち早く

勉強して、誰よりも早

くお客様、代理店さんに

開催している。コロナ禍

年度から「女性部会」を

度による中止期間があ

つたものの、昨年度から

再スタートし、今回は3

回目の事業となった。

藤中氏は、参加した女性営業担当者から「自分が担当し

たお客様から女性は嫌だ

と言われた。どのように

対応すればよいのだろう

か?」といった質問に対

して同氏は「自分自身が

情報提供するよう心が

けた。自分自身の強みを

伸ばし、他者(他社)と

違う価値を提供すること

も対応できるようにな

る」といった意見が発表

され、非常に有意義な時

間となった。

最後に藤中氏が「本日

のセミナーを通して、自

分の学びが多い時間とな

った。また、ご自身の悩

みや問題点は、ほかの方

が答えを持っていると思

う。ぜひ、こうした機会

を多く持つていただき

たい」と挨拶し閉会とな

った。その後に行われた懇

親会ではさらに懇親を深



グループディスカッション

のに続き、損害保険ジャパン執行役員の藤中麻里子氏が、自身が入社してから今までの経験をもとに女性活躍推進法や同社のダイバーシティ推進の取組み等について説明した。それについて参加者はグループ内討議後に質疑を行った。具体的に

休憩を挟んで行われた

取り組んでいくべきか

を熱く語った。

休憩を挟んで行われた

取り組んでいくべきか

を熱く語った。

最後に藤中氏が「本日のセミナーを通して、自分

の学びが多い時間とな

った。また、ご自身の悩

みや問題点は、ほかの方

が答えを持っていると思

う。ぜひ、こうした機会

を多く持つていただき

たい」と挨拶し閉会とな

った。その後に行われた懇

親会ではさらに懇親を深